カム次末炒合数供料高

红艺	資本総合	登伸計	リー りりりゅう りょうしょう けんしょう かんしょく かんしょく かんしょく かんしょう かんしょう かんしょう かいしょう しゅうしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう いんしょう しゅうしょう いんしょう しゅうしょう はんしょう しゅうしょう いんりん しゅうしょう しゅうしょう はんしょう いんり しゅうしょう いんり しゅうしょう はらしょう しゅうしょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	全父何金							平成29年03月17日				
計画の名	3称 住田町の	心地よい生	活環境を支える道づくり) (防災・安全)											
計画の期	月間 平成 2	9年度 ~	~ 令和03年度 (5年	F間)						重点配分	対象の該当				
交付対	象 住田町									'	,				
計画の目	標 道路修繕	計画の策定	で行い、利用者の利便性 である。	生向上による交通	の安全・安心な通行を	 を確保する。									
全体事	業費(百万円) 合	計(A + B + C + D)		399 A	389 B	0 C	10 D	0 効果促進事	業費の割合 C / (A + B +	C + D) 2.5 %				
							<u> </u>		<u>'</u>						
							一回の成果目標(定量的指標)								
					1	는 등 YF NEW - 15 NEW									
番号										定量的指標の現況値及び目					
					定量的指標の定	義及ひ昇正式			当初現況値	中間目標値	最終目標値				
_	********	A+2+ 4	におなれいまれなびのお	tr (## -7					H29	0	H33				
ŀ			に対策が必要な箇所の整						Ta=2.	1,007	0004				
			い要がある個所に対する改 はなび 5 またさしまび 5						37%	49%	66%				
	改善整備率 =	(改善整備	済延長÷要改善計画延長	₹)×100											
-															
-															
-															
l															
								個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む	・ 定住自立圏を含む	- 連携中枢都市圏を含む -				

A 基幹事業		事業	地域	六什	古拉				西丰レかっ東米々	事業内容	市区町村名 /	車 米 9	₽₩₽	明 / ケー	全体事業費	弗田	
甘於東米(十)			種別	交付 対象	直接間接		種別 1	種別 2	要素となる事業名		P区町村名/ 港湾・地区名			間(年度)		費用 便益比	個別施設計画 策定状況
基幹事業 (大)	番号	種別							(事業箇所)	(延長・面積等)	冷渇・地区石	п29 п	30 n3	1 KUZ KU3	(百万円)	(伊金儿	東ル仏流
		備考	- 美肥 9 6	ه د د اد ۹	、リ期付	される効果											
`* rb 击 **			60	/÷ mmT	±+÷	(→ mmT	→mT+→	/セ/ギ		☆# ¥# ↑# //♥ L O FO L	(÷ mmT				000		+#=
道路事業	A01-001	担 路	一般	住田町	直接	住田町	市町村道	1	(1)新切新田線外3路線	舗装補修L=8.58 k m	住田町				389		未策定
					1		1			1							
											小計				389		
											3 41						
				I			T		I	T	△ ±1				200		1
											合計				389		
				•		•		•			•			, ,			•

1 案件番号: 0000151798

C 効果促進事業		事業	地域	六付	古拉				西表レかる東娄夕	事業内容	市区町村名/	車班	中佐	#888	(年度)	全体事業費	弗田	(mp.124-48-41-
甘於車米(十)	** =			交付 対象	直接間接		種別 1	種別 2	要素となる事業名		市区町村名/ 港湾・地区名				(年度)		費用 便益比	個別施設計画
基幹事業(大)	番号	種別	種別						(事業箇所)	(延長・面積等)	冷湾・地区石	H29	H30	H31	RU2 RU3	(百万円)	伊盆几	策定状況
		備考	- 夫肥96	ه د د اد ۹	トリ州付	される効果												
道路事業	C01-001		фД	住田町	士 +☆	住田町	市町村	卸木	道路施設点検事業	調査L=8.19 k m	住田町					10		未策定
但邱尹未	C01-001	但的	又的	注 四 四 1	且按	注田		神具	追聞/	inj且L=0.19KIII	注 四 四]					10		木 泉足
		> + пь ++ +			- L >= LT.	4\ / 4\ 1+ ^	道	I IA	ない。こまないも回った。									
		直路 施設	の正期に	は検を実施	也し週切り	な維持官埋る	行つこと	により、	施設の長寿命化を図るもの)である。 								
			_		_				T									1
I											小計					10		
I																		
																		_
											合計					10		
			•	•											•			•
					1	l	_l		ı		1							
					T													
				<u> </u>														
				1	Τ													
			1	I	T								П					1
					1													
			1	1	T				T		1	1				<u> </u>		

1 案件番号: 0000151798

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H29	H30	H31	(14,113)
配分額 (a)	11	10	21	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	11	10	21	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	
支払済額 (e)	11	10	21	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場				
合その理由				

事前評価チェックシート

計画の名称: 住田町の心地よい生活環境を支える道づくり(防災・安全)

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合	
T. 目標の妥当性 1)計画の目標が住田町の総合計画と適合している。	0
I. 目標の妥当性 2)上位計画等と整合性が確保されている。	0
 T. 目標の妥当性 地域課題への対応	
 1. 目標の妥当性 1)地域の課題を踏まえた、生活環境の向上と産業振興の基盤整備となっている。	0
	0
 II. 計画の効果・効率性 2)指標・数値目標と事業内容の整合性がある。	0
 II . 計画の効果・効率性 3)指標・数値目標が分りやすいものになっている。	0
 II . 計画の効果・効率性 事業の効果	
 II. 計画の効果・効率性 1)目標に対して十分な効果を得られる事業で構成されている。	0
 II. 計画の効果・効率性 2)ハードとソフトの連携が図られている。	0
 TII . 計画の実現可能性 計画の具体性	
 III.計画の実現可能性 1)ハード整備の必要性が整理されている。	0
III.計画の実現可能性	
	0

案件番号:0000151798

	チェック欄
III.計画の実現可能性	
III. 計画の実現可能性 3) ソフト施策の目的が明確である。	0
III.計画の実現可能性	
III.計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
TII. 計画の実現可能性	0
	_
	_
	Т
	Т
	Т
	_
	Т